

第一編 自然環境

第一章 位置・面積……………三

第一節 位置……………三

一 数理的位置……………三

二 交通的位置……………三

第二節 面積……………五

第二章 地形……………七

第一節 地形概要……………七

一 宇摩地方の地形……………七

(一) 外帯の山地||四国山地……………七

(二) 中央構造線……………八

(三) 内帯の山地||讃岐山脈……………八

(四) 宇摩平野……………九

二 川之江市の地形的領域……………九

(一) 位置とひろがり……………九

(二) 境界……………九

第二節 川之江市の地形と人文……………二

一 法皇山脈の北斜面(外帯の山地)……………二

二 讃岐山脈の西端(内帯の山地・丘陵)……………三

三 低地……………三

四 海岸線……………三

第三章 地質……………七

第一節 地質概要……………七

第二節 地質各論……………七

一 長壽変成岩類……………七

二 和泉層群……………七

三 洪積層……………七

四 沖積層……………七

(一) 沖積扇状地……………七

(二) 沖積低地……………七

五 火成岩類……………七

六 中央構造線及びその他の断層……………七

七 鉱産物……………七

第四章 気候……………七

第一節 気候概要……………七

第二節 気象条件の特徴……………七

一 気温……………七

- 二 降水量……………六
- 三 風……………六
 - (一) やまじ風と地形……………六
 - (二) やまじ風の性質……………七
 - (三) やまじ風の子報……………三

第五章 生 物

第一節 動 物

- 一 陸生動物……………三
- (一) ほ 乳 類……………三
- (二) 鳥 類……………三
- (三) は虫類・両生類……………三
- (四) こん虫類……………六
- (五) その他節足動物・陸生軟体動物……………三
- 二 水生動物……………三
- (一) 魚 類……………三
- (二) 節足動物……………三
- (三) 軟体動物……………三
- (四) 磯の動物……………三

第二節 植 物

- 一 植生と植物相……………三
- (一) 植生帯と植生の現状……………三

- (二) 注目すべき植物……………三
- (三) まとめ……………三
- 二 老樹・名木……………三
 - クスノキ スギ マツ
 - ムクノキ ツバキ サクラ イブキ
 - エノキ コナラ ナシ イスノキ

第二編 歴 史

第一章 原始・古代の姿

第一節 人類のはじまり

- 一 先土器時代の遺跡・遺物……………六
- 二 先土器時代の生活……………六

第二節 縄文時代の様相

- 一 縄文時代の区分……………三
- 二 縄文時代の生活……………三
- 三 縄文時代の郷土の遺跡……………三

第三節 弥生時代の様相

- 一 弥生時代の区分……………三
- 二 部落国家の成立……………三
- 三 弥生時代の生活……………三
- 四 弥生時代の郷土の遺跡……………三
- (一) 大江遺跡……………三
- (二) 瓢箪山遺跡……………三
- (三) 東宮石遺跡……………三

第四節 古墳時代の様相

- 一 古代国家の成立……………三
- 二 氏姓制度の確立……………三

- 三 愛媛県下の古墳……………七
- 四 川之江市の古墳……………七
 - (一) 東宮山山古墳群……………七
 - 東宮山古墳 山口古墳群 塚田・塚六古墳群
 - (二) 金川古墳群……………七
 - 原峰古墳 城塚古墳 陵宮
 - (三) 半田柴生古墳群……………七
 - 大島古墳群 西塚穴壙古墳 東塚穴壙古墳
 - (四) 向山古墳群……………七
 - 向山古墳 宝湯山古墳群 お極山古墳群
 - 鈴元古墳 二天山古墳
 - (五) その他の古墳……………七
 - 住吉古墳 島山古墳 長須の古墳
 - (六) 箱式石棺……………七
- 五 川之江市内の古墳の特色と築造年代……………七
- 六 春宮神社と木梨軽太子……………七
- (一) 『古事記下』允恭記の軽太子……………七
- (二) 『日本書紀』卷第十三の軽皇子……………七

第五節 律令国家の成立と社会

- 一 律令国家のあけぼの……………七
- 二 律令国家の基礎づくり……………七
- 三 大化の改新と郷土……………七

七道と国・郡・郷……………六〇

(一) 班田収授の制と郷土……………六〇

四 太政官道と大岡駅……………六六

(一) 駅路の設置……………六六

(二) 大岡駅所在地についての諸説……………七〇

大岡駅の名称の起り……………七〇

大岡駅の所在場所……………七〇

大岡駅への経路……………七〇

五 大和・奈良時代の字摩の豪族……………七六

(一) 金集史抜麻呂……………七六

(二) 秦の浄足と阿倍小殿小鎌……………七八

(三) 凡直継人……………七八

(四) 越智氏と字摩郡……………七八

第六節 平安時代末期の様相……………八〇

一 荘園の成立と武士階級の出現……………八〇

(一) 荘園の起り……………八〇

(二) 荘園支配者の武士化……………八六

二 字摩の荘園……………八六

三 安徳天皇行在所となった切山伝説……………八六

第二章 中世の郷土の支配者たち……………九〇

第一節 伊予と河野家……………九〇

一 河野家の盛衰……………九〇

(一) 河上但馬守の出自……………九二

(二) 妻鳥采女と河上但馬守……………九二

(三) 大西備中守と河上但馬守……………九三

(四) 但馬守の重臣たち……………九三

五 大西備中守と轟城……………九三

(一) 進(信)藤正国と轟城築城……………九三

(二) 大西備中守の出自……………九三

(三) 大西道誉と大西備中守……………九三

(四) 大西備中守の轟城入城……………九三

(五) 備中守の最期……………九三

六 豊臣秀吉の四国統一……………九三

(一) 長宗我部氏の四国制覇……………九三

(二) 秀吉の四国侵入……………九三

(三) 川之江城の陥落……………九三

戦国時代年表……………九三

第三章 近世……………九三

第一節 支配の移り変わり……………九三

一 初期の支配者……………九三

(一) 概説……………九三

(二) 治世……………九三

太閤検地と川之江(福島正則の時代)……………九三

川村権七と川之江(加藤嘉明の時代)……………九三

第二節 南北朝時代と川之江……………九三

一 新田氏と川滝新田神社……………九三

(一) 新田氏略歴……………九三

(二) 新田義宗・義治の伊予入国……………九三

(三) 新田義宗墳墓と新田神社縁起……………九三

二 土肥義昌と川之江城(仏殿城)……………九三

(一) 土肥義昌の出自……………九三

(二) 河ノ江城築城……………九三

(三) 河ノ江城の攻防……………九三

(四) 土肥義昌・由良吉里の最期……………九三

三 伊予における河野・細川両氏の動向……………九三

南北朝時代の略年表と伊予(付 川之江城関係)……………九三

第三節 室町時代・戦国時代の字摩……………九三

一 細川氏の伊予進出……………九三

二 細川通直(備中鴨山城主)と川之江城……………九三

(一) 「細川家系譜抄」と「鴨山城由緒」……………九三

三 妻鳥采女正友春……………九三

(一) 妻鳥氏の出自……………九三

(二) 妻鳥采女と川之江城……………九三

(三) 元亀の戦い……………九三

(四) 長宗我部と妻鳥采女……………九三

(五) 妻鳥采女の転戦……………九三

四 河上但馬守と川之江城……………九三

川之江城廃城……………九三

(一) うたかたの川之江藩……………九三

一 柳陣屋と町名……………九三

二 分轄統治……………九三

(一) 幕領(前期松山藩御預り所時代)……………九三

御預り所役人年表……………九三

西条藩の成立と上分、金川村の分離……………九三

主な治世……………九三

(一) 直轄支配(大坂代官時代)……………九三

歴代代官表……………九三

主な治世……………九三

別子銅山と天領替地……………九三

今治藩へ七か村編入……………九三

(一) 西条藩領……………九三

西条藩松平家……………九三

上分村……………九三

金川村……………九三

(二) 今治藩領……………九三

今治領編入の経緯……………九三

長須村、川之江村境論争……………九三

平山鉱山鉱毒騒動……………九三

五郎(龜老所村)農民逃散一件……………九三

水を求めて……………九三

打ち続く災害……………九三

民衆の動き……………九三

村役人……………九三

(三) 幕府領(後期松山藩御預り所時代)……………九三

幕府の布令……………九三

高札……………九三

条目……………九三

村請け……………九三

(四) 川之江陣屋……………九三

御領り所の組織……………九三

任務……………九三

御預り所歴代役人……………九三

御預り所職掌……………九三

頭取……………九三

代官……………九三

手付……………九三

手代……………九三

郷倉……………九三

山守……………九三

御用聞……………九三

御……………九三

用達 陣屋卒 大庄屋 宗門改役
川之江村 16

村の概要 政治の中核 地理的条件
町方の興隆 川之江村の変遷 町組
商家 浜方 船稼ぎ 村方 開田と
水利 元禄ごろの農業 村騒動 文政
百姓一揆 万延の騒動 エジャナイカ
台場と銃隊 打ち続く災害

天領各村 17
下分村 山田井村 余木村 三角寺村

第二節 村の政治 17

一村役人 17

庄屋 17
庄屋職 庄屋所 任務 布令・条目の
示達 賃租の割当てと徴収 人別改め
普請 その他

組頭 17
組頭の選任 任務 天領各村庄屋・組頭
表 今治領・西条領各村庄屋・組頭表

百姓代 17
五人組頭 17
大庄屋 17
郡方役人 17

七制 裁 17

第三節 江戸時代の交通 17

一 街道と番所 17

川之江村往還 土佐街道 阿波街道
番所

通行手形 17
往來手形 先触

問屋場 17
四国廻路 川之江村四国廻路手形数

廻船 17
川之江の廻船業 17
川之江溜方申渡 川之江村の廻船 廻船

余木村の廻船業 17
余木村の廻船 余木廻船の積荷

第四節 経済と民生 17

一 各村の生産物 17

農産物 17
各村の生産物 米・麦 その他
増産のしくみ 17
肥料・入会 新田開発

大庄屋所 17
組織と任務 17
助定人 中見札指 小走り 郷蔵番
御林番

川之江村役人 17
川之江村の特殊性 17
城下町 商家建

大年寄 17
浜庄屋 17
浜手役 17
四年 貢 17

村 高 17
本田畑と新田畑 見取場 起返 反高
場 田地明細帳 年貢名寄帳

検見 17
小物成 17
定納 不同 茶分一 木地分一 白
木 肴運上 帆別運上 米安運上
塩運上

五村入用 17
臨時経費の調達

普請 17
御普請所 17
自普請所 17

二 各村の人口動態 17

人口 17
家数・職業 17
牛 馬 17
天災と飢饉 17

川之江村天災の記録 17
飢饉 17
災害対策 17
水争い 17

特産物の消長 17
菜種・綿実 17
綿花 17
煎海鼠 17

その他 17
民衆の息吹き 17
農民騒動 17
「文政」川之江農民一揆 余木村農民騒動
川之江村小前騒動 その他の騒動 エシ
ヤナイカ

商工業の進展 17
酒屋 藩札 質屋 紙 その他

漁民のようす 17
漁船の消長 加子役と漁業権 廻船

漁民のくらし 鮫捕り……………三六

④ 庶民のくらし……………三六

姓名 服装 日常生活 往来 下分……………三六

村庄屋日記……………三六

第五節 文化の香り……………三六

一 儒学志向……………三六

(一) 宇田川楊軒……………三六

(二) 尾藤二洲……………三六

(三) 長野豊山……………三六

(四) 近藤冠山……………三六

二 学問のすそめ……………三六

(一) 私 塾……………三六

(二) 寺 小 屋……………三六

三 俳諧の風……………三六

四 歌島の道……………三六

五 民謡・民俗……………三六

(一) 関船歌と太鼓台……………三六

(二) 箱廻しと冷瑠璃……………三六

六 芸術の追及……………三六

(一) 書 道……………三六

(二) 絵 画……………三六

(三) 彫刻その他……………三六

第六節 維新への胎動……………三六

④ 川之江民兵隊の解放……………三六

第四章 近 代……………三六

第一節 大政奉還と土佐藩の川之江進出……………三六

一 土佐迅衝隊の川之江接收……………三六

二 土佐藩東征軍の経緯……………三六

第二節 土佐藩の川之江支配……………三六

一 軍政隊の川之江接收……………三六

二 川之江政庁の設置……………三六

第三節 川之江政庁の治績……………三六

一 村札・藩札発行……………三六

二 總會所の設立……………三六

三 川之江村富興業……………三六

(一) 長州征伐等上納金……………三六

(二) 台風襲来……………三六

(三) 溪修築計画……………三六

④ 土州川之江陣家の認可……………三六

第四節 廢藩置県からの行政区画の変遷……………三六

一 川之江の愛媛県管轄への移行……………三六

二 川之江市内各村管轄と区戸長制……………三六

三 宇摩郡役所設置と三島村への移転……………三六

一 幕藩体制の衰え……………三六

二 開 國……………三六

三 攘夷と浪士狩……………三六

四 川之江の自衛力と民兵……………三六

(一) 松山藩の海辺防備軍(民兵隊)創設の遠因……………三六

(二) 川之江の黒船対策……………三六

ペリーの来航 城山台場の構築 大砲の据付……………三六

④ 川之江の下関戦争対策……………三六

攘夷戦争と文久の大動員 ケール銃の購入 兵糧の準備 軍令 海面監視四二日……………三六

④ 川之江の「長州征伐」対策(銃隊の編成)……………三六

第一次長州征伐 第二次長州征伐と台場の補強 国恩感謝上納金 兵隊の供出……………三六

(一) 砲銃対擲銃隊の編成……………三六

(二) 砲銃隊の編成……………三六

(三) 砲銃隊の訓練……………三六

(四) 砲銃隊の調練……………三六

(五) 砲銃隊の守備 村内打廻り 砲銃隊の構造……………三六

(六) 砲銃隊の調練……………三六

(七) 砲銃隊の調練……………三六

(八) 砲銃隊の調練……………三六

(九) 砲銃隊の調練……………三六

(十) 砲銃隊の調練……………三六

④ 「新軍隊」と改称……………三六

小隊の改編 「新規則」の制定……………三六

(一) 戊辰戦争の影響……………三六

土佐藩の川之江進出と民兵 常備隊と千備隊……………三六

第五節 地租改正と殖産興業……………三六

一 地租改正……………三六

二 殖産興業……………三六

三 工業化への息吹き……………三六

(一) 葉煙草製造業……………三六

(二) 製綿製布業……………三六

(三) 製紙業……………三六

(四) その他の諸工業……………三六

第六節 金生川の水害と改修工事……………三六

一 金生川が柴町筋を流れていた痕跡……………三六

二 金生川の洪水と水害……………三六

第七節 太平洋戦争と銃後……………三六

一 戦時体制の強化と銃後の生活……………三六

大政翼賛会 各種報国会 隣組・町内会 配給制と耐乏生活 勤労奉国隊の出動 徴用令の強化 女子挺身隊の結成 学校生徒と戦時体制……………三六

二 戦後の有様……………三六

第三編 行政・財政

第一章 沿革・行政区画の変遷

第一節 集落の形成と支配

第二節 町村の沿革とそのうりかわり

一 川之江町

- (一) 沿革 頁 155
 - (二) 行政 頁 156
 - (三) 大区・郡役所 頁 156
 - (四) 町 勢 頁 156
 - (五) 二名村との合併 頁 157
- 余木村、長須村の沿革 余木村、長須村の合併 川之江町と二名村の合併

二 金生町

- (一) 沿革及び町勢 頁 157
- (二) 行政 頁 157
- (三) 下分村と山田井村の合併 頁 158

三 上分町

- (一) 沿革 頁 158
- (二) 行政 頁 158
- (三) 町 勢 頁 158

四 妻鳥村

- (一) 沿革 頁 159
- (二) 行政 頁 159
- (三) 町 勢 頁 159

五 金田村

- (一) 沿革 頁 159
- (二) 行政 頁 159
- (三) 町 勢 頁 159

六 川澁村

- (一) 沿革 頁 160
- (二) 行政 頁 160
- (三) 町 勢 頁 160

第二章 市制実施

第一節 六か町村の合併

- 一 合併を必要とした理由 頁 160
 - 二 合併に至るまでのいきさつ 頁 160
- 合併促進協議会結成の議会議決書 町村合併促進協議会規約 川之江市設置申請
- 三 新市建設計画 協議書 頁 161
 - 川之江市建設計画 協議書 頁 161
 - 四 川之江市設置の処分申請 頁 161

第二節 川之江市の発足

一 新生川之江市の誕生

- 二 川之江市のあゆみ 頁 162
- (一) 市政のあゆみ 頁 162
- (二) 歴代の市長、助役及び収入役 頁 163
- (三) 委員会及び委員 頁 163
- 三 市 議会 頁 163
- 四 川之江市章の制定 頁 164
- 五 市民憲章 頁 164
- 六 川之江市長期総合計画基本構想の策定 頁 165
- (一) 基本構想の理念と目的 頁 165
- (二) 基本構想の策定の経過 頁 166
- (三) 基本構想の構成概要 頁 166

七 市の木・市の花

第三節 行政機構

- 一 行政事務機構 頁 167
- 二 市庁舎 頁 167
- 三 一部事務組合 頁 167
- 四 宇摩地区広域市町村圏組合 頁 167
- (一) 広域市町村圏の設定 頁 167
- (二) 広域市町村圏の趣旨 頁 168
- (三) 宇摩地区広域市町村圏組合の設立 頁 168
- (四) 宇摩地区広域市町村圏組合の組織及び経費負担 頁 168

第四節 人口の推移と動態

- 一 合併前の人口推移 頁 167
- 二 川之江市の人口推移と動態 頁 167
- (一) 人口概況 頁 167
- (二) 地区別人口と世帯数の推移 頁 168
- (三) 人口構成 頁 168
- (四) 人口移動 頁 168
- (五) 人口増加傾向にある川之江市 頁 168

第五節 名誉市民

- 一 制度の制定 頁 168
- 二 顕 彰 頁 168

第三章 民生

第一節 福祉行政

- 一 川之江市福祉事務所 頁 169
- 二 生活保護 頁 169
- 三 心身障害者福祉 頁 169
- (一) 川之江市心身障害者年金の支給 頁 169
- (二) 重度心身障害者医療費の助成 頁 169
- (三) 母子通園療育ホーム等更生施設 頁 169
- (四) 精神薄弱児収容施設 川之江学園 頁 169

- 四 児童福祉……………頁
- (一) 児童福祉機関……………頁
- (二) 保育所……………頁
- 公立各保育所の施設概要と沿革……………頁
- 乳児保育所……………頁
- (三) 児童館……………頁
- (四) 零歳児医療費助成事業……………頁
- 五 老人福祉……………頁
- (一) 川之江市の老人福祉……………頁
- (二) 養護老人ホーム 敬寿園……………頁
- (三) 特別養護老人ホーム 川之江荘……………頁
- 六 母子福祉……………頁
- (一) 経 過……………頁
- (二) 母子福祉法の改称と母子保健法の制定……………頁
- (三) 川之江市の母子福祉……………頁
- 付 社会福祉施設一覧……………頁
- 第二節 同 和 対 策……………頁
- 第三節 民間における社会事業活動……………頁
- 一 民生委員制度……………頁
- (一) 民生委員制度のあゆみ……………頁
- (二) 民生委員の活動……………頁
- (三) 川之江市の民生児童委員……………頁
- 二 川之江市社会福祉協議会……………頁

- (一) 事業の概況……………頁
- (二) 母子通園療育ホームの運営……………頁
- 三 共同募金運動……………頁
- 四 VYS運動……………頁
- 第四節 その他……………頁
- 一 国民年金……………頁
- 二 交通災害共済制度……………頁
- 三 交通災害等遺児教育年金の支給……………頁
- 四 児童手当・児童扶養手当等……………頁
- (一) 児童手当……………頁
- (二) 児童扶養手当……………頁
- (三) 特別児童扶養手当……………頁

第四章 保健・衛生……………頁

- 第一節 明治以降の衛生行政……………頁
- 一 伝染病の発生と対応……………頁
- 二 防除組織……………頁
- 三 避病舎……………頁
- 第二節 法定伝染病の概況……………頁
- 一 明治初期の伝染病……………頁
- 二 予防のための衛生行政……………頁
- 三 川之江市における法定伝染病……………頁

- 第三節 成 人 病……………頁
- 一 成人病のうつりかわりとその対策……………頁
- 二 心臓疾患医療費等の助成……………頁
- 第四節 母 子 保 健……………頁
- 一 母子保健法……………頁
- 二 保健指導……………頁
- 第五節 医 療 施 設……………頁
- 一 医療機関の数……………頁
- 二 国民健康保険直営診療所……………頁
- 三 公立学校共済組合四国中央病院の開設と経緯……………頁
- 第六節 国民健康保険……………頁
- 一 上分町国民健康保険……………頁
- 二 市制施行後の国民健康保険……………頁
- 三 国民健康保険事業の推移……………頁
- (一) 被保険者数の動向……………頁
- (二) 給付改善の経過……………頁
- (三) 医療費等の推移……………頁
- (四) 国民健康保険財政……………頁
- (五) 昭和五十七年度の現況……………頁
- 第七節 環境衛生……………頁
- 一 水資源の利用……………頁
- 二 上下水道できる……………頁

- 三 銅山川上下水道企業団発足……………頁
- 四 下水道と環境衛生……………頁
- (一) 下水道事業の基本計画……………頁
- (二) 事業実施計画……………頁
- (三) 事業の進捗……………頁
- (四) 終末処理場……………頁
- (五) ポンプ場……………頁
- (六) 都市下水路の整備……………頁
- 五 し尿処理……………頁
- 六 塵芥処理……………頁
- (一) 塵芥焼却場……………頁
- (二) 塵芥収集……………頁
- (三) ムシの減量運動……………頁
- (四) 不燃物処理場建設……………頁
- (五) 字摩クリーンセンターの開業……………頁
- 第八節 公 害……………頁
- 一 公害の概要……………頁
- 二 川之江市の公害行政……………頁
- (一) 公害関係法と条例……………頁
- (二) 公害行政体制……………頁
- (三) 公害防止協定の締結……………頁
- (四) 苦情受理の状況……………頁
- 三 公害の経過と現状……………頁

- (一) 大気汚染……………頁六
- (二) 水質汚濁……………頁二
- (三) 悪臭・騒音等……………頁三
- 公営行政年表……………頁三

第五章 土木・治水

- 第一節 道路・橋梁……………頁五
 - 一 市制施行前の道路・橋梁……………頁五
 - (一) 太政官道……………頁五
 - (二) 旧町村時代の道路・橋梁……………頁五
 - 川之江村の道路・橋梁 金生村の道路・橋梁
 - 上分村の道路・橋梁 妻島村の道路・橋梁
 - 金田村の道路・橋梁 川滝村の道路・橋梁
 - 二 市制施行後の道路整備……………頁七
 - (一) 市道の舗装改良……………頁七
 - (二) 川之江市の道路……………頁八
 - 三 市内を通過する国道・県道……………頁九
 - 四 高速自動車道……………頁三
 - 五 橋 梁……………頁七
- 第二節 治 水……………頁六
 - 一 金生川の流域変更……………頁六
 - (一) 昔、ここに川ありき……………頁六

- (二) 水害と金生川……………頁九
- (三) 金生川改修工事……………頁〇
- 金生川工事概要 工事施工と勤勞奉仕
- 金生川改修(付替工事)の効果……………頁三

第三節 水資源の開発

- 一 銅山川の水資源開発……………頁四
 - (一) 銅山川水資源開発の概要……………頁四
 - (二) 治水効果……………頁四
- 二 その他の水資源……………頁四
 - (一) 金生川……………頁四
 - (二) 水田灌漑用溜池……………頁四
- 第四節 港湾と海上輸送……………頁七
 - 一 内海航路汽船の川之江寄港……………頁七
 - 二 港湾整備……………頁八
 - (一) 昭和初期における川之江港修築工事……………頁八
 - (二) 川之江港の改修……………頁一
 - (三) 産業関連港湾「新川之江港」が完成……………頁一
 - (四) 重要港湾「三島・川之江港」……………頁一
- 第五節 臨海土地造成……………頁三
 - 一 第一期臨海土地造成事業……………頁三
 - 二 第二期臨海土地造成事業……………頁三
 - 三 浜地区(第三期)臨海土地造成事業……………頁三

第六章 治安・警備

- 第一節 消 防……………頁七
 - 一 藩政時代の消防……………頁七
 - 二 消防組織の統一と整備……………頁七
 - (一) 消防事務の沿革……………頁七
 - (二) 消防組の設置……………頁八
 - 三 合併前の消防……………頁三
 - (一) 戦時中の消防……………頁三
 - (二) 消防団の発足……………頁三
 - 四 川之江市消防団……………頁四
 - (一) 川之江市消防団の発足……………頁四
 - (二) 消防団のあゆみ……………頁四
 - 五 消防本部・消防署……………頁七
 - (一) 川之江市消防本部・消防署……………頁七
 - (二) 宇摩地区広域市町村圏組合消防本部・消防署……………頁九
 - 六 火災救急の発生状況……………頁〇
- 第二節 警 察……………頁三
 - 一 警察制度……………頁三
 - 二 警察組織機構の変遷……………頁四
 - 三 市内の派出所・駐在所……………頁七
- 第三節 災害対策……………頁九

第七章 選 挙

- 一 主な災害……………頁九
- 二 災害対策……………頁〇
- 第一節 選挙の歴史……………頁四
 - 第二節 地方自治……………頁三
 - 一 薩摩県と愛媛県の誕生……………頁三
 - 二 地方制度のうつりかわり……………頁三
 - (一) 郡区町村の編制……………頁三
 - (二) 戸長官選……………頁六
 - (三) 町村議事会……………頁六
 - (四) 町村制と地方自治法の制定……………頁七
- 第三節 選挙制度の確立……………頁八
 - 一 創設時代……………頁八
 - (一) 特設県会……………頁八
 - 二 明治(中期・後期)時代……………頁九
 - (一) 国の選挙……………頁九
 - (二) 県 政 界……………頁九
 - 三 大正時代……………頁一
 - (一) 国の選挙……………頁一
 - (二) 大正期の県議選挙……………頁一
- 四 昭和時代前期……………頁五

- (一) 国の選挙……………三〇
- (二) 県議選挙……………三〇
- 五 戦後時代……………三二
- 第四節 選挙の執行と当選人……………三二
 - 一 衆議院議員選挙……………三二
 - 二 参議院議員選挙……………三二
 - 三 地方選挙……………三〇
 - (一) 県の選挙……………三〇
 - 愛媛県知事選挙 愛媛県議會議員選挙……………三〇
 - (二) 市町村の選挙……………三〇
 - 町村長・市長選挙 議會議員選挙……………三〇
 - その……………三〇
 - 他の選挙……………三〇
 - 四 市制施行後の選挙執行状況……………三〇
 - 第五節 選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会……………三三
 - 一 選挙管理委員会……………三三
 - 二 明るい選挙推進協議会……………三三

第八章 労働

- 第一節 明治期の農民運動……………三六
- 第二節 戦前の労働運動……………三六
 - 一 明治・大正期の労働運動……………三六
 - 二 昭和初期の労働運動……………三六

- 第三節 戦後の労働運動の発展……………三〇
 - 教員の勤務評定争議 九任製紙労働争議……………三〇
- 第四節 失業対策事業……………三二
 - 一 失業救済施策の歴史……………三二
 - 二 失業対策事業のはじめと推移……………三二

第九章 兵 事

- 一 徴兵令制定前の民兵……………三七
- 二 徴兵令の発布……………三七
- 三 西南の役……………三六
- 四 日清戦争……………三六
- 五 日露戦争……………三六
- 六 日華事变及び太平洋戦争と戦没者……………三〇
 - (一) 川之江地区……………三三
 - (二) 金生地区……………三六
 - (三) 上分地区……………三三
 - (四) 斐島地区……………三三
 - (五) 金田地区……………三六
 - (六) 川滝地区……………三〇
 - (七) 平和像・忠魂碑……………三三

第十章 広 報

- 第一節 広報と行政……………三七
 - 一 広報制度の沿革……………三七
 - 二 広報紙「川之江市報」の発行……………三七
 - (一) 「川之江市報」の創刊……………三七
 - (二) 「川之江時報」と改題……………三九
 - (三) 愛される市報に……………三九
 - (四) 市報「かわのえ」の内容……………三九
 - 三 動く一日市役所……………三九
 - 四 市民室の開設……………三九
 - 五 くらしのカレンダー……………三九
 - 六 防災行政用無線局の開局……………三九
- 第二節 広報委員と行政……………三九
 - 一 広報委員会の設置……………三九
 - 二 広報委員会の組織とその活動……………三九

第十一章 財 政

- 第一節 徴税制度の変遷……………三九
- 第二節 旧町村の財政……………三九
 - 一 川之江町の財政……………三九

- 二 金生町(村)の財政……………三九
- 三 上分町(村)の財政……………三九
- 四 斐島村の財政……………三九
- 五 金田村の財政……………三九
- 六 川滝村の財政……………三九
- 七 租税規模と住民の負担……………三九
- 第三節 町村合併前後の財政……………三九
 - 一 合併直前の町村財政……………三九
 - 二 市制施行直後の財政……………三九
- 第四節 市制施行後の財政収支……………三九
 - 一 款別収支の推移……………三九
 - 二 財政規模の増加と財政収支……………三九
- 第五節 近年における財政状況……………三九
 - 一 会計別収支決算状況……………三九
 - 二 市債の現況……………三九
 - 三 一般会計の款別決算と財源……………三九
 - 四 市税の現状……………三九
 - (一) 市民税……………三九
 - (二) 固定資産税……………三九
 - (三) 軽自動車税……………三九
 - (四) たばこ消費税……………三九
 - (五) 電気税……………三九

五 財政力指数 七〇

第十二章 官公署 七〇

第一節 市内に所在する官公署 七〇

一 官公署 七〇

二 文化施設 七〇

三 文教施設 七〇

第四編 産業・経済

概 説 七〇

第一章 農 業 七〇

第一節 概 要 七〇

第二節 農村の生活 七〇

一 江戸時代の農業 七〇

二 重労働からの解放 七〇

三 農村の経済生活 七〇

四 農村の信仰 七〇

五 農地改革 七〇

六 水資源の開発 七〇

(一) 開発略史 七〇

(二) 柳瀬ダムと新宮ダム 七〇

(三) 治 水 七〇

(四) 灌漑用水 七〇

(五) 発電 電 七〇

(六) 上水道用水 七〇

(七) 工業用水 七〇

(八) 富郷ダムの計画と調査 七〇

七 土地利用 七〇

八 農業の現況 七〇

九 農業の近代化 七〇

第三節 農業の振興計画 七〇

一 農業の生産構造の動向 七〇

二 農業生産計画 七〇

三 生産体制の整備 七〇

四 農業構造改善(農業生産の中核的担い手の育成) 七〇

第四節 農業振興団体 七〇

一 農業改良普及所 七〇

二 川之江市土地改良区 七〇

三 農業委員会 七〇

四 農業協同組合 七〇

五 農業共済組合 七〇

六 たばこ耕作組合 七〇

第五節 畜 産 七〇

一 牛・豚 七〇

二 養 鶏 七〇

第二章 林 業 七〇

第一節 自然の環境 七〇

第二節 森林の概要 七〇

第三章 工 業 七〇

一 国有林と市有林の關係 七〇

二 私有林と市有林の關係 七〇

第一節 製 紙 業 七〇

一 沿 革 七〇

二 和紙業発達の原因 七〇

三 生産と経営 七〇

(一) 紙の種類 七〇

(二) 紙の原料 七〇

(三) 生産状況 七〇

(四) 機械漉と手漉 七〇

第二節 紙加工業 七〇

一 沿 革 七〇

二 紙加工品の最近の傾向 七〇

三 生産形態 七〇

四 新しい創業と零細経営 七〇

五 工場分布 七〇

六 販売形態と販路 七〇

七 地域経済との結合 七〇

第三節 水 引 七〇

一 沿 革 七〇

第四節 製紙関連工業……………頁
 一 工業の立地……………頁
 二 鉄 工……………頁
 三 工業薬品……………頁
 四 合成樹脂製品（ポリエチレン包装）……………頁
 五 製紙原料……………頁

第四章 商 業……………頁

第一節 川之江の商業概要……………頁
 第二節 商店街・商業地区の分布と特色……………頁
 一 商店街・商店地区の分布……………頁
 二 中心商店街の形態と業種構成……………頁
 三 上分商業地区の形態と特色……………頁
 第三節 市民の購買動向……………頁

第五章 交 通……………頁

第一節 沿 草……………頁
 第二節 明治初期の運輸交通……………頁
 第三節 交通の現状……………頁
 一 交通位置と主要道路……………頁
 二 鉄道交通……………頁

三 バス交通……………頁
 四 海上交通……………頁
 五 四国縦貫・横断自動車道……………頁

第六章 漁 業……………頁

第一節 近世漁業の展開……………頁
 第二節 戦前の漁業……………頁
 第三節 戦後の漁業……………頁
 一 概 況……………頁
 二 パッチ網（瀬戸内海機船曳網）……………頁
 第四節 水産業の現況と課題……………頁

第五編 教 育……………頁

第一章 藩政・天領時代の教育……………頁

第一節 学者文人の教学……………頁
 一 宇田川楊軒……………頁
 二 尾藤二洲……………頁
 三 長野盤山……………頁
 四 近藤篤山……………頁
 第二節 私 塾……………頁
 脇坂所尊 井川列泉 長野南谷 高橋
 義得 近藤箕山 その他……………頁
 第三節 寺 子 屋……………頁
 第四節 徒弟子女教育……………頁

第二章 明治以後の教育……………頁

第一節 明治初期の教育……………頁
 一 私 塾……………頁
 (一) 水野龍門……………頁
 二 寺 子 屋……………頁
 第二節 諸学校の沿革……………頁

一 小学校・中学校……………頁

(一) 学制頒布……………頁
 小学校の設置 学制による課業内容及び授業料 学校の経費……………頁
 (二) 教育令の公布……………頁
 教育令 改正教育令……………頁
 (三) 小学校令の公布……………頁
 小学校令 小学校令改定 試験……………頁
 (四) 教育勸励……………頁
 (五) 高等小学校の設置……………頁
 (六) 小学校令の一部改正……………頁
 (七) 義務教育六年制の実施……………頁
 (八) 小学校教育の充実……………頁
 (九) 戦時下の教育……………頁
 国際不安 非常時下の教育体制 国民学校 学童疎開……………頁
 (十) 戦後の教育……………頁
 新日本建設の教育方針 新学制と小学校・中学校……………頁
 (甲) 学校給食……………頁
 川之江市学校給食会……………頁
 二 高等学校……………頁
 (一) 組合立三島女学校……………頁
 (二) 組合立実科高等女学校……………頁

- (㉑) 宇摩郡立宇摩高等女学校…………… 〇〇
- (㉒) 愛媛県立宇摩高等女学校…………… 〇〇
- (㉓) 愛媛県立川之江高等女学校…………… 〇〇
- (㉔) 愛媛県立川之江高等学校…………… 〇〇
- 三 幼稚園…………… 〇〇
- (一) 市立幼稚園…………… 〇〇
- (二) 私立幼稚園…………… 〇〇
- 四 その他…………… 〇〇
- (一) 二洲学舎…………… 〇〇
- (二) 実業補習学校・青年訓練所・青年学校…………… 〇〇
- (三) 各種学校…………… 〇〇
- 第三節 教育委員会…………… 〇〇
- 第四節 育英事業…………… 〇〇
- 第五節 教育界の動向…………… 〇〇
- 一 愛媛県教育会宇摩部会…………… 〇〇
- 二 宇摩教職員組合第一区…………… 〇〇
- 三 愛媛県教育研究協議会川之江支部…………… 〇〇
- 第六節 社会教育…………… 〇〇
- 一 社会教育施設…………… 〇〇
- (一) 公民館…………… 〇〇
- (二) 図書館…………… 〇〇
- (三) 郷土館…………… 〇〇

- (四) 青少年センター…………… 〇〇
- 二 文化施設…………… 〇〇
- (一) 市民会館…………… 〇〇
- (二) 文化センター…………… 〇〇
- 三 社会教育関係団体…………… 〇〇
- (一) 婦人会…………… 〇〇
- (二) 青年団…………… 〇〇
- (三) P T A…………… 〇〇
- (四) 愛護班…………… 〇〇
- 四 社会体育…………… 〇〇
- 第七節 同和教育…………… 〇〇
- (一) 川之江市同和教育協議会…………… 〇〇
- (二) 妻島民主化教育協議会…………… 〇〇

第六編 宗 教

第一章 宗教の流れ…………… 〇〇

- 第一節 神社神道…………… 〇〇
- 第二節 仏 教…………… 〇〇
- 第三節 その他…………… 〇〇
- 第二章 神社・寺院・その他…………… 〇〇
- 第一節 川之江地区…………… 〇〇
- 第二節 金生地区…………… 〇〇
- 第三節 上分地区…………… 〇〇
- 第四節 妻島地区…………… 〇〇
- 第五節 金田地区…………… 〇〇
- 第六節 川滝地区…………… 〇〇

第七編 民 俗

第一章 村落社会の構造…………… 〇〇

- 第一節 村落社会…………… 〇〇
- 一 村の構成…………… 〇〇
- 二 村の自治…………… 〇〇
- 第二節 同族関係…………… 〇〇
- 一 血 筋…………… 〇〇
- 二 家 族…………… 〇〇
- 三 家紋・家印・屋号…………… 〇〇
- 四 氏 神…………… 〇〇
- 第三節 村のつきあい…………… 〇〇
- 一 つきあい…………… 〇〇
- 二 講…………… 〇〇
- 三 若連中と子供組…………… 〇〇

第二章 衣食住…………… 〇〇

- 第一節 衣生活…………… 〇〇
- 一 きもの…………… 〇〇
- 二 はきもの…………… 〇〇

三 かぶりもの…………… 101

四 雨 具…………… 102

五 小学生の服装…………… 103

第二節 食生活…………… 104

一 食 物…………… 105

二 炊事施設…………… 106

三 調理・炊事用具・食器…………… 107

第三節 住生活…………… 108

一 農 家…………… 109

二 町 家…………… 110

三 灯火・照明…………… 111

四 農 具…………… 112

第三章 労働慣行…………… 113

第一節 共同作業…………… 114

一 共同労働…………… 115

二 手問替え…………… 116

三 コウロク…………… 117

第二節 奉公・日雇い…………… 118

一 奉 公…………… 119

二 日雇い…………… 120

第四章 年中行事…………… 121

第一節 正 月…………… 122

第二節 春…………… 123

第三節 夏…………… 124

第四節 秋・冬…………… 125

第五章 人の一生…………… 126

第一節 出産・育児…………… 127

第二節 婚 姻…………… 128

第三節 厄払い・年祝い…………… 129

第四節 葬 祭…………… 130

第六章 民間信仰…………… 131

第一節 講…………… 132

第二節 祈願行事…………… 133

第三節 その他…………… 134

第七章 子どもの生活…………… 135

第一節 子どもの遊び…………… 136

第二節 童 唄…………… 137

第八章 俚諺・方言…………… 138

第一節 俚 諺…………… 139

第二節 方 言…………… 140

第九章 郷土芸能と民謡…………… 141

第一節 郷土芸能…………… 142

第二節 民謡・唄…………… 143

第十章 民話と伝説…………… 144

一 川之江地区…………… 145

二 金生地区…………… 146

三 上分地区…………… 147

四 斐島地区…………… 148

五 金田地区…………… 149

六 川滝地区…………… 150

第八編 文化財・諸芸・観光

概 説…………… 151

第一章 文化財…………… 152

第一節 指定文化財…………… 153

一 国指定文化財…………… 154

二 県指定文化財…………… 155

三 市指定文化財…………… 156

第二節 原始・古代の文化財…………… 157

一 出土品…………… 158

二 石棺・古墳…………… 159

三 古代の窯跡…………… 160

第三節 城址・遺跡…………… 161

一 城 址…………… 162

二 遺 跡…………… 163

第四節 神社・寺院の文化財…………… 164

一 神 社…………… 165

二 寺 院…………… 166

第五節 書跡・古文書…………… 167

一 書 跡…………… 168

二 古文書	1011
第六節 民俗文化財	1012
一 太鼓台	1011
二 関 船	1011

第二章 美術・工芸

第一節 書 道	1012
第二節 絵 画	1012
第三節 窯業・工芸	1011
一 窯 業	1011
二 工 芸	1011

第三章 文 芸

第一節 和 歌	1012
第二節 俳 句	1012
第三節 川 柳	1012
第四節 文学碑・記念碑・碑	1012

第四章 市内の文化団体(文学・美術・工芸関係)

1012

第五章 観 光

第一節 名所・旧跡	1012
第二節 観光・行事	1012
一 秋祭りと太鼓台	1012
二 港 祭 り	1012
三 紙まつり	1011
第三節 名物・名産	1011
一 紙加工業	1011
二 手すき和紙	1011
三 煮 干 し	1011
四 日 本 酒	1011
五 菓 子	1011
第四節 観光施設及び推進機関	1011

第九編 人物

今村松嶺彦	1101
脇復所斎	1101
宇田川楊軒	1101
今城東仰齋	1101
尾藤二洲	1101
三宅篤所	1101
柴田志隆	1101
三宅宗閑	1101
近藤篤山	1101
井川嘯月	1101
井川列泉	1101
長野豊山	1101
宇田川長齡	1101
豊永玄碩	1101
長野南谷	1101
三宅松軒	1101
尾藤水竹	1101
馬場且嶺	1101
鷹田篤平	1101
三好鉄香	1101
三好藍石	1101

第十編 年表

高橋義得	1111
泉屋清兵衛義重	1111
水野龍門	1111
近藤箕山	1111
大西黙堂	1111
佐伯法遊	1111
矢野逸郎	1111
榎原朔太郎	1111
大塚豊三郎	1111
大久保三洲	1111
高尾謙次郎	1111
竹内鳳吉	1111
大西観市	1111
紀伊為一郎	1111
森貫善四郎	1111
西川 勉	1111